

なぜなぜ分析チェックリスト

チェックが付かなかった箇所は要注意！

ステップ1: 問題の定義

- ☐ 不良内容を明確に書いたか？（例：アルミ加工品にキズあり）
- ☐ 現場・現物で確認したか？
- ☐ 発生条件（いつ・どこで・どの工程か）を確認したか？

ステップ2: 「なぜ？」の掘り下げ

- ☐ 「なぜ？」を最低5回以上繰り返したか？
- ☐ 人のせい（注意不足）で止まっていないか？
- ☐ 推測ではなく事実で説明できているか？
- ☐ 書き出した内容に矛盾や抜けはないか？

ステップ3: 仕組みの視点

- ☐ ルールや標準がなかったことが原因になっていないか？
- ☐ 設備・治具の不備はなかったか？
- ☐ 教育・訓練の不足はなかったか？
- ☐ 管理・体制（在庫管理、検査工程など）の欠陥はないか？

ステップ4: 真因の確認

- ☐ 「人の注意」で防げるものではなく、仕組みに落とし込めるか？
- ☐ 他の不良にも共通しそうな原因になっていないか？
- ☐ 再発防止につながるレベルまで掘り下げたか？

ステップ5: 対策立案

- ☐ 真因に対して有効な対策になっているか？
- ☐ 教育や注意喚起だけで終わっていないか？
- ☐ 標準・ルール・仕組みに組み込めるか？
- ☐ 実行担当者・期限・確認方法を決めたか？